

さいたま市立東岩槻小学校 学校だより 3月号



# すわっ子だより

学校教育目標 ともに伸びる子  
かしこく ゆたかに たくましく  
令和7年2月26日(水)  
第13号 発行責任者 川添 倫義  
在籍児童数154名  
<http://higashiwatsuki-e.saitama-city.ed.jp>

感謝そして新年度へ

校長 川添 倫義

今年度も、子どもたちは教育課程に基づく学習や生活を通じて、大きく成長しました。学校生活では、児童会による生活向上キャンペーンや学年を超えた縦割り活動、工夫を凝らした委員会活動など、子どもたち自身がアイデアを出し、主体的に取り組む姿が見られました。学習面では、基礎学力の向上を図るとともに、ICTを活用した授業の充実に努めました。さらに、宿泊学習・遠足・社会科見学など、すべての校外学習を計画通り実施することができました。運動発表会や音楽朝会などの行事も、進行や環境に工夫を凝らし、子どもたちにとって貴重な経験となりました。

また、コミュニティ・スクールの活動として、「あいさつ運動」「登下校の安全支援」「環境整備」「学校図書」など、学校運営協議会・SSN・地域の皆様・「すわっ子サポート隊」の皆様から多大なるご支援をいただきました。そのおかげで、子どもたちにとってよりよい教育環境を整えることができ、学校が「生涯の学びの拠点」としての役割を果たせるよう取り組んでまいりました。

さて、先にお知らせしましたとおり、令和7年度のさいたま市の年間授業日数が、今年度の205日から202日に短縮されることとなりました。それに伴い、本校では時間割の見直しを行い、新2年生は、1学期は全曜日5時間授業、2学期・3学期は今年度と同様に火曜日のみ6時間授業とします。また、新3年生は、1学期は火曜日のみ6時間授業、2学期・3学期は火曜日と金曜日が6時間授業となります。これにより、年間の授業数がより適切な教育課程に沿う形となりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

今年度、学校生活に関する保護者の皆様からのご相談については、複数の教員が連携し、組織的かつ丁寧な対応を心がけてまいりました。今後も学校全体で協力し、保護者や関係者の皆様とともに、子どもたちのさらなる成長を支えてまいります。

先日のお話朝会では、大谷翔平選手から寄贈されたグローブを使用し、6年生とキャッチボールをしました。その際、集団生活における「会話のキャッチボール」の大切さについても考えました。投げる側と受け取る側の意思疎通、相手が受け取りやすいように投げること、投げやすいように構えることなど、キャッチボールと同じように、日々の対話においても相手を思いやる姿勢が大切であると改めて感じました。

令和6年度を終えるにあたり、東岩槻小学校の保護者・地域の皆様の温かいご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。皆様の支えが、子どもたちの成長につながっていることを実感する一年でした。新年度もどうぞよろしくお願いいたします。